National Institute of Technology and Evaluation 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 令和5年12月6日 令和5年度四国地区発電所長及びボイラー・タービン主 任技術者会議

主催:中国四国産業保安監督部四国支部

詳報作成支援システムの活用について

独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE) 国際評価技術本部 電力安全センター



目 次

- ◆1. NITEの紹介
- ◆2. 事故実機調査について
- ◆3.事故分析について
- ◆4. NITEにおけるスマート保安に関する取組について
- ◆5. 詳報作成支援システム、詳報公表システムの紹介
 - (参考)①システムを利用した詳報入力例 (事業用電気工作物 1号 死傷事故)
 - (参考)②複数号に係る事故の報告について
 - (参考)③過去に作成した詳報を編集・流用したい場合
 - (参考)④小出力発電設備に係る事故報告

1. NITEの紹介

NITEの紹介

■NITEの事業案内

NITEは、「独立行政法人製品評価技術基盤機構法」に基づき、経済産業省のもとに設置されている行政執行法人です。

現在、製品安全分野、化学物質管理分野、バ イオテクノロジー分野、適合性認定分野、国際評 価技術分野の5つの分野において、経済産業省な ど関係省庁と密接な連携のもと、各種法令や政策 における技術的な評価や審査などを実施し、わが国 の産業を支えています。

また、それらの業務を通じてNITEに蓄積された知 見やデータなどを広く産業界や国民の皆様に提供す るとともに、諸外国との連携強化や国際的なルール づくりなどに取組、イノベーションの促進や世界レベル での安全な社会の実現に貢献しています。



https://www.nite.go.jp/



電力安全センターの紹介

◆ 経済産業省からの依頼を受けて、事故対応行政での諸課題等を踏まえた業務から開始し、 立入検査や保安に係る業務を順次拡充中。



2. 事故実機調査について

事故実機調査について

■ 背景

産業構造審議会 保安・消費生活用製品安全分科会 第19回電力安全小委員会 資料6 の記述より

- ◆ 重大事故発生数は横ばい傾向 →機器ハード面において、手段・余力等がなく、<u>原因不明でとどまっている事故報告が存在</u>
- ◆ <u>NITEは、経済産業省からの要請を受け、事故実機調査が必要な案件について、事故</u> 原因の分析等の調査業務を開始(2019年度から)
- ◆ <u>事業者自主保安という規制前提</u>・業界状況・社会要請等に十分留意しつつ、関係者とよく協議しながら、<u>電力安全に資するよう業務を実施</u>



事故実機調査について

■ 事故実機調査の様子

- ◆ NITEに持ち込まれた事故実機を非破壊調査(X線透過観察)した後、解体して内部調査。
- ◆ 消防機関等の関係機関と合同で現地にて事故実機調査を実施するケースもあり。
- ◆ 調査で撮影したX線写真や分析結果等の「ファクトデータ」は、報告書として調査依頼者に提供(※)。







例2 焼損した端子台の調査

※ 報告書にはNITEとしての推定や見解は含まれません。

3.事故分析について (NITEにおける保安統計業務の紹介)

独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE)

電気事業法第107条、電気関係報告規則第2条に基づき、前年度に発 生した電気事故について、電気事業者、自家用電気工作物設置者別に実 績を取りまとめた統計である。

目的:電気工作物の事故の発生傾向を把握することで

- →安全で安定的な電気供給のため
- →技術基準の検討
- →電気工作物設置者への適切な指導
 - に資するための情報を得ることを目的としている。

経済産業省HPより

https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/electric/detail/denkihoantoukei.html

電気関係報告規則第3条並びに第3条の2に定める

○感電又は破損事故若しくは電気工作物の誤操作若しくは電気工作物を操作しないことにより人が死傷した事故

○電気火災事故

○電気工作物の破損又は電気工作物の誤操作若しくは電気工作物を操作し ないことにより、他の物件に損傷を与え、又はその機能の全部又は一部を損 なわせた事故

○主要電気工作物の破損事故 →次ページへ

○波及事故

等の電気事故が発生した際、国へ報告しなければならない事故。

令和5年7月6日 プレスリリースより

統計データや事故を未然に防ぐためのポイントに ついて注意喚起を実施

夏場の感電事故に注意!

本件の概要

報道発表資料

- 発表日: 令和5年7月6日(木)
- タイトル: 夏場の感電事故に注意! ~感電リスクが高く死亡事故も発生しています~
- 発表者名: 独立行政法人製品評価技術基盤機構 国際評価技術本部
- 資料の概要: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 [NITE(ナイト)、理事長:長谷川 史彦、本所:東京 都渋谷区西原]は、電気事業法に基づく電気工作物(発電、変電、送電、配電又は電気の使用の ために設置する工作物)に関する事故情報データベースを用いて、2019年度から2021年度まで の「電気工作物に係る感電死傷事故(以下、感電死傷事故という。)」の詳細分析を行いまし た。その結果、分析を行った3年間の感電死傷事故においては、夏場に発生件数が増加をはじめ、 秋頃まで発生件数の高止まり状態が続くこと、さらには、高齢作業者が保守点検作業中に受傷す る死傷者数・事故率が高い傾向にあることが明らかになりました。

キュービクル (高圧受電設備)

受電室の感電死傷事故のイメージ※ ※実際の事故画像ではありません。

■作業者個人が行う安全対策として ①常に検電器を所持し、作業前には必ず検電の実施を徹 底してください。 ②絶縁用保護具を着用し、肌の露出が少ない服装を心が けてください。 ③作業手順方法を正しく理解した上で作業を行ってください。 ■高齢作業者の方に特に行っていただきたい安全対策とし τ ①体調管理の徹底、体調不良時の作業は避けてください。 ②自分のペースで焦らずに作業することを心がけてください。 ③通電中の「電気工作物の点検」作業時の事故が多くなっ ています。点検を行う際は十分注意して作業を行ってくださ U10 ■管理者(電気主任技術者)や設置者側の安全対策と して ①充電部に保護カバーを取り付ける防護措置の実施など、 設備面の安全対策についてご検討ください。 ②予定外作業の実施はさせない、単独での作業を避ける、 安全教育実施など、組織的に実施する安全対策についてご 検討ください。 ③センサー類や常時監視システムなどの稼働など、作業者が 現場での直接の点検作業を減らす新技術(スマート保安 技術)の導入についてご検討ください。

ן) ר

nite

4. NITEにおけるスマート 保安に関する取組について

背景:電気保安をとりまく課題とスマート化の流れ

- 需要設備等の高経年化や再工ネ発電設備が増加する一方、電気保安に携わる電気保安人材
 の高齢化や電気保安分野への入職者の減少が顕著。また、台風や豪雨等の自然災害が激甚
 化し、太陽電池発電や風力発電等の再工ネ発電設備の事故が増加。
- さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大下においても、重要インフラである電力の供給共有は 止めることのできない業務であり、そのための保安作業についても安定的な業務継続が必要。このように電気保安分野では、構造的な課題や様々な環境変化への対応が求められているところ。
- こうした課題を克服するため、電気保安分野においてIoTやAI、ドローン等の新たな技術を導入 することで、保安力の維持・向上と生産性の向上を両立(=電気保安のスマート化)させてい くことが重要。

目的:スマート保安プロモーション委員会の位置づけ

- 官民間・業界間でのコミュニケーションツールとして、スマート保安技術やデータを活用した新たな保 安方法について、その妥当性を確認・共有する場として設置。
- スマート保安技術の導入と普及拡大のプロモートを目的として、申請のあったスマート保安技術や データを活用した新たな保安方法について、保安レベルの維持・向上に必要な技術要件を有して いるか、その妥当性を確認。
- NITEは、プロモーション委員会での議論を踏まえ、当該保安方法について、関係業界等への普及広報(スマート保安技術カタログの作成・公開等)、導入を促進するための基準策定や規制 見直しの提言等の実施。

スマート保安技術カタログ(電気保安)

令和4年7月8日に第1号案件を掲載したスマート保安技術カタログ(第1版)をHPで公開。現在は (第10版)まで更新を重ね、第11号案件まで掲載。

技術カタログのURL: <u>https://www.nite.go.jp/gcet/tso/smart_hoan_catalog.pdf</u>

(1)保安技術モデル×3件、(2)基礎要素技術×8件、を掲載。

5. 詳報作成支援システム 詳報公表システムの紹介

NITEが公開している電気事故に関する2システム

■事故報告書(詳報)作成支援システムと公表システム

■報告書(詳報)の作成を支援するシステム

- ▶ 電気事故発生の事業者は、経済産業省に事故報告書(詳報)を提出する。
- ▶ 事故の種類によって記載すべき内容が変わるほか、項目も多岐に渡るため、 一から作成するには大変な手間と時間がかかる。

▶「詳報作成支援システム」を利用すると、指示に従って記載項目を入力していけば、完成度の高い詳報を作成することが可能。

詳報作成支援システムは、Webブラウザーから使用開始なWebアプリケーションで、ソフトウェアのダウンロードやインストールが不要です。 ※ ℃Microsoft Edge、 ◎ Google chromeに対応しております。

■詳報作成支援システムでできること

■アクセス方法

詳報作成支援システム

システムの運用情報はこちらからご覧ください。 7号「出力+万キロワット以上の蓄電所に係る七日間以上の放電支障事故」については、 現在システムでの詳報作成ができません。 お手数ですが、以下のリンクから様式をダウンロードして、詳報をご作成ください。 https://www.nite.go.jp/gcet/tso/shoho.html

「電気事業法第38条第3項各号に掲げる事業を営む者」又は「自家用電気工作物を設置する者」であって、 電気報告関係規則 第三条各号に掲げる事故報告(詳報)を作成・修正をする方は<mark>上記「事故詳報作成」ボタン</mark>をクリック してください。 従前の詳報(11号「波及事故」等)を作成する方は、<mark>上記の「事故詳報作成」ボタン</mark>を押してください。)

小規模事業用電気工作物事故報告書作成

速報(小規模)

「10kW以上50kW未満の太陽電池発電設備」又は「『20kW』未満の風力発電設備」の設置者であって、電気報告関係規則第 三条の二各号に掲げる小規模事業用電気工作物の事故報告(詳報)を作成・修正をする方は上記「小規模事業用電気工作物事故 報告書作成」ボタンをクリックしてください。

(2021年4月1日より小規模事業用電気工作物で例えば下図に掲げる内容の事故が発生した場合、事故報告が対象になりました。詳細はこちらをご覧ください。)

https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/electric/detail/jikohoukoku.html

システムの使い方【YouTube】

システムの使い方を説明したYouTubeの動画編集(プレイリスト)です。 事故例を題材としたストーリー形式になっており、登場人物2人の会話を通して、自然にシステムの使い方が 学べるようになっています。動画は、電気設備の種類(事業用、小規模事業用電気工作物)、事故の種類(感電死傷、 破損、波及)によって分かれているので、ご自身の事故報告書に近い動画をプレイリストからお選びください。 ■詳報作成支援システムの利用は、 NITEホームページ→ 国際評価技術→電気保安技術支援業務・スマート保安のメニュー一覧にある「詳報作成支援システム」からアクセス

- 電気事故報告の作成は、以下の2つに分かれていますので、該当するものを選択してください。
 - ①「<mark>事故詳報作成」</mark>(電気関係報告規則第3条に 係る電気事故報告(詳報))
 - ②「小規模事業用電気工作物事故報告書作成」 (旧称:小出力の太陽電池発電又は風力発電 設備に係る事故)
- 詳報だけではなく、速報についても本システムから作成、 提出することができます。

【詳報作成支援システム】 <u>https://www.nite.go.jp/gcet/</u> <u>tso/shohosupport/</u>

■システムの入力の流れ

興選択、提出

報告事業者1

町域・番地

報告担当者

連絡先

■システムの使い方動画マニュアル(Youtube)

事故例を題材としたストーリー形式になっており、登場人物2人の会話を通して、自然にシステムの使い方が 学べるようになっている。 動画は、電気設備の種類(自家用、小出力発電設備)、事故の種類(感電死傷、破損、波及)によっ て分かれているので、ご自身の事故報告書に近い動画をプレイリストから選択可能。

※詳報作成支援システムの使い方 - YouTube

https://www.youtube.com/playlist?list=PLWxWKUOj3xAL7il1d7jJ17v8ieCHYM6gk

■システムで速報を作成することが可能

詳報公表システム

■システムの概要と目的

詳報公表システムは、電気事業法に基づく電気工作物に関する全国の事故情報(詳報) が一元化されたデータベースです。 匿名化された事故情報を、同種事故の再発防止策や未然防止策の検討、社内教育等に 活用できます。

詳報公表システム

■アクセス方法 ■詳報公表システムの利用は、 NITEホームページ→ 国際評価技術→電気保安技術支援業務・スマート保安のメニューー覧にある「詳報公表システム」からアクセス

Netional Initiate of Technology and Evaluation	防 ▶ チームNITE ▶ お問い合わせ ▶ English	
2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		* 快来県日、オージート、選び以辛の快来来付により快来が当起です。
ナイトについて 国際評価技術 バイオテクノロジー 化学物質管理	適合性認定	《 件検索
		発生年月 🔤 ~ 🖼
国际計加投机		発生地域 □ 北海道 □東北 □ 開東 □ 中部 □ 北陸 □ 近畿 □ 中国 □ 四国 □ 九州 □ 沖縄
HOME > 国際評価技術 > 重気保安技術支援重務・スマート保安 > 詳報公表システム		事故種別 □ 感電等による死傷 □ 電気火災 □ 電気工作物の破損等による物損 □ 電気工作物の破損 □ 発電支障 □ 供給支障 □ 他社への波及 □ 自家用電気工作物からの波及 □ ダム異常放流 □ 社会的影響
詳報公表システム	2 番車池システムの試験・評価	電気工作物第1階層 ▼ 電気工作物第2階層 ▼ 電気工作物第3階層 ▼
【お知らせ】2022年1月31日: 詳報公表システム運用開始	■ 電気保安技術支援業務・スマート保安	電気工作物第4階屆 ▼ 電気工作物第5階層 ▼ 電気工作物第6階層 ▼
詳報公表システムはこちらからアクセスできます。	D スマート保安 D 詳報作成支援システム	キーワード検索
 詳報公表システム (https://www.nite.go.jp/gcet/tso/shohozub/search/) [システム運用情報] 現在システムメンテナンスの予定はありません。 	 ・ 詳報公表システム ・ ・<td>キーワード 検索項目 選択肢 1. を レ キーワード条件 2 レ</td>	キーワード 検索項目 選択肢 1. を レ キーワード条件 2 レ
システムの概要	 ・ 各種資料 こュースリリース一覧 	2. ja
詳報公表システムは、電気事業法に基づく電気工作物に関する全国の事故情報(詳報)が一元化された国内初のデ ータベースです。本システムは、電気事業者をはじめ、どなたでもご自由にお使いいただけます。事故情報を条件 やキーワードで簡単に検索することができ、抽出されたデータはCSVファイルとしてダウンロードすることも可能 です。 なお、現在登録されている事故情報は、2020年度分から(2020/04/01~)となります。	D リンク集 D ファインバブル (除了しました) 合 分野サイトマップ	条件 1. 2. 3すべてを満たしている 全角/半角 ● 区別する
システムの利用環境	注目コンテンツ	

詳報公表システムは、Webブラウザーから使用開始なWebアプリケーションで、ソフトウェアのダウンロードやイ ンストールが不要です。

注目コンテ	ンツ
1	スマート保安 プロモーション委員会

【詳報公表システム】 https://www.nite.go.jp/gcet/t so/shohopub/search/

詳報公表システム

■システムの特徴

EX AL A	×8	m	m		
光土 円	ғя				
発生地	地域 🗌 北海湖	道 🗌 東北 🗌 関東	[] 中部] 北國	査 □ 近畿 □	中国 🗌 四国
事故種	● 動 □ 感電 □ 供給	等による死傷 🗌 電気 支障 🗌 他社への波及	記火災 □ 電気工作 2 □ 自家用電気工(物の破損等による ⁴ 作物からの波及	効損 □ 電気工作 □ ダム異常放流
電気工作物第1階	皆居	∨ 電気]	E作物第2階屆	~	電気工作物第3
雷气工作物第48	*R	▼ 走気1	「作物第5階房	V	赤気工作物箆6
				•	HEALT LUNDON
キーワード植	<u>余</u> 案				BALTHAR
キーワード植	かな 検索 キーワ・	ド 検索J			b
キーワード核	設立 検索 1.	ード 検索」 を	1日 11日 11日	 選択 に 含t	肢) V
キーワード椅 キーワード検 キーワード条件	錬索 <u>キーワ</u> 1. 2.	ード 検索 を を		選択 マ に 含む マ に 含む	
キーワード核キーワード条件	续索 キーワ 1. 2. 3.	ード 検索 を を		選択 く に 含む く に 含む く に 含む く に 含む	

被害状況	電気工作物 (区分)	事故発生電気工作物 の概要と被害箇所	事故原因 (大分類/小分類
死亡:無 負傷:有 火災…	[高圧配電線路]→[架…	【製造者未記載 製造…	故意・過失/公衆の
死亡:無 負傷:無 火災…	[火力発電所(汽力設…	【〇〇(株)〇〇年…	その他/その他
死亡:無 負傷:無 火災…	[需要設備(高圧)]→…	【〇〇(株)〇〇年…	保守不備/保守不
死亡:無負傷:無火災: 無供給支障など:無被 善状況サンプル	[電気工作物1サンプル] →[電気工作物2サンプ ル]→[電気工作物3サン プル]→[電気工作物5 サンプル]→[電気工作物5 サンプル]→[電気工作物5 6サンプル]→[電気工作物 6サンプル]→[電気工作	事故発生電気工作物の 概要と被書簡所 サンプ ル	設備不備/製作不
	一覧表出力	検索条件	変更

条件検索機能

- ●事故の種別を10種の条件から選択が可能です。
- ●電気工作物の種類をプルダウンメニューから選んで検索が可能です。

キーワード検索機能

- ●3つのキーワード、7種の検索項目、2種の選択肢の掛け 合わせで様々な検索が可能です。
- ●さらに掛け合わされたキーワード条件の上に、かつ・または・どれかを満たすという(AND/OR)条件を組み合わせることで詳しい検索も可能です。

検索結果の一覧化機能

- ●検索結果は一覧で表示され、マウスカーソルを当てると、 情報の詳細を閲覧できます。
- ●「一覧表出力」をクリックすると、検索結果のデータをcsv ファイルでダウンロードできます。
- ●「検索条件変更」をクリックすると、検索条件を保持した 状態で検索画面に戻り、再検索ができます。

今後もNITEは、 電気保安の向上に貢献して参ります。

ご静聴ありがとうございました。

事例1(1号) 作業員がキュービクル内の銘板確認中に、計器用変成器 (VT)の充電部に接触し、やけど(感電負傷)をおった。

■詳報作成支援システムの入力の流れ

1. 死傷事故(1号)の詳報作成

報告先選択 > 報告者情報の入力 > 号の選択 > 様式13入力 > 号情報の入力 - 電気工作物情報の入力 > 様式13総括入力 > 資料選択、提出

30

・報告事業者の情報 ・報告担当者連絡先

自家用電気工作物を設置する者で あっても、発電設備を有して居る場合、 電気事業法第27条の27第1項の届 出をした者のみ「発電事業者」にも チェック。 発電を行っているが、上記届出が必要 でない者はチェックしない。

参考:

https://www.enecho.meti.go.j p/category/electricity_and_gas /electricity_measures/004/pdf/ 004shiryo_01.pdf

31

	1
報告元度が2485日1948の人分2号の選択248313人分2号前後の人分2483134836人分248正子エック2493618324号4018024号4184824 資料選択、提出	発生日時が不明の場合は、 - 事故を覚知した日を記載してく ださい。
この画面では事故の報告内容を選択します。 件名 必須 銘板調査作業中に発生した作業者感電負傷事故 ▲ ● <td< td=""><td>天候が不明の場合は、その他の , ゲ 欄に「不明」と記載してください。</td></td<>	天候が不明の場合は、その他の , ゲ 欄に「不明」と記載してください。
エ 確な日時が分からない場合は、管轄の監督部等に相談して推定日時を入力します。事故発生日時が全く推定できず不明とする場合は、事故発生日時の不明をチェックして事故覚知日を入力してください。 大 候 必須 ● 晴れ ○曇り ○霧 ○雨 ○雪 ○あられ・ひょう ○雷 ○その他 事 故発生電気工 作物の設置され 必須 北海道事業所 部 道府県名 必須 北海道	発電を行っている事業者は、発電電 力及び系統連携電圧(受電電圧 欄に記載)を、受電を行っている事 業者は受電電圧及び受電容量を記 載してください。
市区画村名 必須 礼幌市北区 番地・建物名 必須 北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎 事業場の最大電力 (発電出力) kW 事業場の受電電圧 6.6 kV 事業場の受電容量の何 事業場の受電容量 kVA ホーつ以上は入力 必須 その他事業場の ※	発電も受電も行っている場合は、系 統連携電圧と受電電圧のいずれか 大きい方の値を記載してください。
情報	33

1号から13号までの該当する号にチェック。 #最大3つの号までは複数選択可。

注意点 令和4年12月1日法改正により、事故報告の区分 として「7号:出力十万キロワット以上の蓄電所に 係る七日間以上の放電支障事故」が新設されまし た。

	「原因」	
-原因	※ 原因分類	県因分類か1 被害者の過失」1 第三者の過失」の場合
原因分類	原因分類	必須 大分類: 感電(作業者) > 小分類: 被害者の過失 >
原因分類 必須 大分類: 感電(作業者) > 小分類: 作業方法不良 >	死傷者情報	
	死傷者番号	1 ■最も被害の程度が大きい死傷者である
		□ □ 過失をした被害者である
死傷者番号 1 ■	い死傷者である	3
略称 必須 作業者		◆死傷者の原因、事故内容等を対
当該死傷者を事故発生の経緯などでどのように記載しているのかを記載ください (例: 被害者A、作業者X、彼災者a など)。		象者別に入力
死傷状況 必須 感電による負傷 ~		
死傷場所 必須 需要設備(高圧) ~		□ ○ へ 力 し に 板 舌 白 の つ ら 「 取 も 板 舌 の 柱 長 か べ さ □ ○ び 框 名 」 に チェックを 入 わ て く だ さ い ¦
死傷事故の発生した電気工作物を選択し、詳細欄に具体的な場所等を記載してください。		
計器用変成器(VI)の高圧ヒューズ部 死傷場所詳細 <mark>必須</mark>	Ŕ	両方にナエックが入る場合ものりま9。
左肩部及び左太腿付近に火傷を伴う裂傷 感電経路 計器用変成器(VT)の高圧ヒューズ部→左上肩→左太腿→トランスの 板)	図 第一日 第二日 第二日 第二日 第二日 第二日 第二日 第二日 第二日 第二日 第二	 ②原因分類の小分類が<u>「被害者の過失」</u>となっている場合は、入力した被害者のうち<u>「過失をした被害者」にチェック</u>を入れてください。
具体的な被害や負傷の程度、被害部位の詳細、感電経路について記載ください。		③ 死傷者情報は最大5名まで追加可能
被害内容1 必須 被害状況・ 雪髪傷 、 、 被害部位・ 左肩	_	(6名以上の場合は、被害の程度が大きい死傷
		者の情報を入れてください。)
◎ 更に 彼吉 内谷を 追加 しま 9 ※最大4箇所まで記載できます。		(4)具体的な貝傷の住民、彼者部位や感覚経路に ついて記載してください
被害箇所が5つ以上、若しくは、広範囲にわたり、		
ーつずつ選択しにくい場合は「複数範囲」を選択してください。]	してください。
被害内容2 必須 被害状況: 電撃傷 ~ 被害部位: 大腿左	~	
被害(負傷)の状況と被害部位(体の部位)を選択してください。		20
□更に被害内容を追加します		59

尾分 必須 感電(作業者)その他 死傷者の区分を選択してください。 竹別 必須 ●男 ○女 ○不明 年齢 必須 70歳 □不明 職業 必須 作業員 経験年数 不傷者の区分が「作業者」の場合は必ず記載ください。 野故発生現場経験年数 死傷者の区分が「作業者」の場合は必ず記載ください。 事故発生現場経験年数 死傷者の区分が「作業者」の場合は必ず記載ください。 事故発生現場経験年数 所属組織名 必須 北海道産業保安株式会社 部署名 電気設備室 主任技術者の資格の有無 必須 資格の有無で「有」を選択した場合は必ず記載ください。	↓ ↓ ↓ ●有○無○不明 ↓ ↓ ★] □ 不明	作業者の場合は経験年数も記 載してください。 分析し、事故軽減のための啓蒙 活動に使用します。
主任技術者の資格の有無 必須 主任技術者の資格 第三種電気主任技術者 資格の有無で「有」を選択した場合は必ず記載くださん。 備考 電気工事士の資格の有無 必須 電気工事士の資格の種類	 ●有○無○不明 ▼ さい。 ○有○無●不明 ○第一種○第二種○特種○認定 		
資格の有無で「有」を選択した場合は必ず記載くだる 備考	<u>きしい。</u>]	40

作業内容 必須	電気工作物の銘板確認 変圧器のPCB含有量調査の為の銘材	反確認 彩		点検作業中だったのか 清掃作業中だったのか
作業内容備考				銘板確認中だったのか 記載してください。
作業内容が「その他」の	り場合は必ず記載ください。		T	
安全装備	ヘルメット 絶縁帽 絶縁手袋(高圧) 絶縁手袋(低圧) 絶縁衣 絶縁ゴム靴(高圧) 絶縁ゴム靴(低圧) 安全靴 その他の装備 作業着、安全華	 ●有 ○無 ○不明 ○有 ●無 ○不明 ○有(□右 □左) ●無 ○不明 ○有(□右 □左) ●無 ○不明 ○有 ●無 ○不明 ○有 (□右 □左) ●無 ○不明 ○有 (□右 □左) ●無 ○不明 ●有 (□右 □左) ●無 ○不明 ●有 ○無 ○不明 ●新 ○無 ○不明 		装備状況についても出来 るだけ詳細情報を選択し てください。 分析し、事故軽減のため の啓蒙活動に使用します。

区分で作業者を選択した場合は必ず選択してください。

詳報作成支援システム		
報告元連択2報告省情報の人力2号 事故関連写真PDFの作成>資料選択 この画面では電気工	の通択>様式13次力>与前報の入力- 提出 次へ キャンセル :作物情報を入力します。	工作物の名称は必須
(1)仕様 電気工作物名 <mark>必須</mark>	1 計器用変成器 (VT)	
電気工作物	1 階層 需要設備(高圧) 2 階層 変成器 3 階層 計器用変成器(VT) 4 階層 5 階層 6 階層 その他 VT	・電気工作物については、プルダウンメニューで選択。 ・プルダウンメニューから選択することで、「区分開閉 器、PAS、SOG」など同じ電気工作物の表現方 法を統一します。
製品仕様	メーカー名 VT製造株式会社 製品名 VT 型式 VT001 設置年月 年 月 年 使用期間 年 月 年 製造年月 年 文宿電圧 V 定格電流 20 A 変電電圧 1次 V 2次 V 使用電圧・受電電圧 6600 V その他製品仕様1 2次側 110V その他製品仕様2	・使用年数、型式、製品仕様などを記載。 ・破損するまで年数など、より正確な分析が でき、より詳細な交換推奨時期などの提言 に使用します。
	その他製品仕様3	44

(2)設置状況	
北海道事業所 彩 ジョンション ション ション ション ション ション ション ション ション ショ	
(最大400文字)	
市区町村 札幌市北区	
	ー 雨ケエル版の32里担託について記書して/ださい
受電用の電気室に設置されている高圧ケーブルスマートグリッドへの配電盤へ接続のた 🛒	・ 电ズ L 1 F 初の 辺 し い し に し い し に む 戦 し し ん こ い ・
設置場所の詳細	
(最大1024文字)	
(3)点検状況	
過去の月次定期点検や年次定期点検記録について、報告書に添付しない場合は、当該欄を用い測定値や点検結果などの詳細情 報を記載してください。	
実施 ◎有 ○無	
直近点検日 2023 ~ 年 01 ~ 月 31 ~ 日	
<mark>異常なし </mark> 彩	
点検結果	
(最大1024文字)	
	添付資料として点検記録を報告書に付して頂
	/ /か (3) 占桧県辺に在次占桧や日次占桧
月次定期点検	
	の記録を記載してください。
4	
年次定期点検	↓ 入力が完了したら「次へ」ボタンを押すことで、
	電気工作物が登録され、「专情報の人力」
	のページへ戻ります。
次へ 4 キャンセル	
	······································

...

....

主任技術者からの助言・定期点	検結果の把握
----------------	--------

□主任技術者からの助言・定期点検結果の把握	作業手順・作業準備・安全催促	_禾 対策・安全教育
① 定期点核の実施 20 月次 20 年次 □未実施 □不明		. 佐要率に対すて新空油(進力)(範囲)(佐要率に対すて空会新空)」 ジルトラに わってい ちのもい
②定期点検結果について主任技術者から説明を受けていましたか?		・ ド来省に対 9 る 教育 訓練の
●定期点検内容について、毎回、口答もしくは書面による説明を受けていた。 ○定期点検結果より、事故に至る可能性は認識していた。 	作業手順・作業準備・安全確保対策・安全教育	主任技術者による社内研修の実施、年1回
●定期点検結果では、問題は認められなかった。 ○ その他	①被害者が「作業者」の場合	実施内容
○定期検査の結果報告について、全く受けていなかった。	作業前の打合せの概要(作業前の打合せはどのようにやったのか)	事故事例による危険予知の研修 😤
○その他	TEM及 CKY を実施。 🛞	
②をクリアする		
③主任技術者より機器の新設や機器の交換を推奨されていましたか? ○有 ※無		
推奨されに内容		
	在業分担の増更(作業の分担はどうなっているのか)	その他
	主任技術者の指示による作業分担を実施。	×
③をクリアする		
④主任技術者より事故に至る可能性の報告・助言を受けていたにも関わらず交換等を実施しなかっ		
/2型田(御政強訳の) □ 今後、工事を行う予定だった。		
□予算の都合、工事の予定はなかった。 □使わったらの始まる完定のたった。		
□ARTCかつ文扱する予定であった。 □絶線抵抗値に異常は認められなかった。	作業手順や安全確保対策の概要 (作業手順や安全確保対策(充需部はどのような状況だったのか)はどうなっていたのか)	②被害者が「公衆」の場合
□ 今まで問題なかったため交換の予定はなかった □ その他	(何故、作業手順や安全確保策が守られなかったのか)	第三者が充電部に近づくことを防止するための対策
⑤備考	キュービクルは施錠管理。主任技術者が開放 ※ 高圧活線近接作業に対しての危機意識が低かった。	(第二百万元電源に虹ラくここでも防くための力束はとうほうているのか)
×		~
		その他

死傷事故については、作業手順や教育について記載してください。

(再発防止対策) ・感電死傷事故に関連して、事 故の未然防止や被害の拡大防 止のために実施 (実施時期を 含む)又は計画(実施予定 時期を含む)した再発防止対 策について記載してください。

討中と記載することも可能です。

◆各号の再発防止対策まで入力完了すると、事故原因、被害状況、再発防止対策の統合を行うページが表示されます。

◆<u>複数の号が該当する事故の場合</u>は、発生した事故全体として総合的に何が原因であったかを記載してください。様式13「6.原因」に内容は反映されます。

◆ <u>1つの号のみの場合</u>であっても転写内容のほかに、事故発生原因に追記が必要な場合は記載してく ださい。様式13「6.原因」に内容は反映されます。 **49**

◆各号の再発防止対策まで入力完了すると、事故原因、被害状況、再発防止対策の統合を行うページが表示されます。

◆<u>複数の号が該当する事故の場合</u>は、各号の被害状況の入力情報が表示されますので、当該事故の総合的な内容を取りまとめたものを入力してください。様式13「7.被害状況」に内容は反映されます。

◆<u>1つの号のみの場合</u>であっても転写内容のほかに、被害状況に追記が必要な場合は記載してください。
 様式13「7.被害状況」に内容は反映されます。

◆各号の再発防止対策まで入力完了すると、事故原因、被害状況、再発防止対策の統合を行うページ が表示されます。

◆<u>複数の号が該当する事故の場合</u>は、発生した事故全体として総合的に行った再発防止対策について 記載してください。様式13「9.再発防止対策」に内容は反映されます。

◆1つの号のみの場合であっても転写内容のほかに、再発防止対策に追記が必要な場合は記載してください。様式13「9. 再発防止対策」に内容は反映されます。

※作成した報告書のメール提出方法

②写真PDFの作成

事故関連写真PDFの作成ページ

事故報告に関連する写真を1つのPDFに 変換することが可能です。

※最大6枚、256MBまで可能です。

注意点

・写真PDFの作成は任意です。
 ・6枚以上の写真PDFを報告書に添付したい場合は、別途他のアプリ等での編集をお願いします。
 ・産業保安監督部側で受け取ることのできるメールのデータサイズは10MBまでとなります。
 写真PDFのサイズが10MBを超えた場合は写真のサイズを圧縮するか、
 他の方法(ファイル交換システム等)でお送りいただくようお願いします。

③書類の添付・提出先等の情報入力

資料選択、提出ページ

詳報の提出を行う産業保安監督部、設置者情報、主任技 術者等の報告者情報の入力が可能です。 (メールアドレスを入力した場合、監督部へ送信した報告 メールがCCで届きます。)

単線結線図等、報告メールに添付するファイルを追加できます。 (詳報PDF・XMLファイルは自動で添付されます。)

※添付可能なデータサイズは10MBまで。

入力完了後、[提出]ボタンでメール提出完了

■ (参考) ② 複数号に係る事故の報告について

1号死傷事故+12号波及事故

事例 2

高圧負荷開閉器(LBS)がロック機能の不良により開放したため、 デスコン棒を用いて閉路した際に、誤って被害者が高圧負荷開閉 器(LBS)に接触して感電するとともに地 絡したが、構内第1柱の高圧気中開閉器の地絡継電器が作動し なかったため、波及事故となった。

(参考)③過去に作成した詳報を編集・流用したい場合

(例)

①産業保安監督部に提出した詳報について、報告内容に手直しが必要となった場合
 ②過去に同じ状況で事故が発生した経験があり、
 その時の詳報XMLの入力内容を一部流用したい場合
 ③経年劣化等で複数台の機器が立て続けに故障し、それぞれ別件で事故報告したい場合
 (事故の経緯や設置場所、事故原因が一致しているため内容を流用したい。)
 ⇒過去に作った詳報XML(速報XMLも可)をお持ちの場合、入力内容の一部流用が可能です

(参考)④小規模事業用電気工作物に係る事故報告

「10kW以上50kW未満の太陽電池発電設備」又は「『20kW』未満の風力発電設備」の所 有者・占有者であって、電気報告関係規則第三条の二各号に掲げる小規模事業用電気工 作物の事故報告(詳報)を作成・修正をする方は[小規模事業用電気工作物事故報告書 作成]ボタンをクリックしてください。

All rights reserved

小規模事業用電気工作物の事故報告についても、システム上で産業保安監督部へのメール報告が可能です。

各号での入力方法については、システムの使い方動画から詳細に確認できます。 (左の画面の[システムの使い方【YouTube】]ボタンから、 解説動画を閲覧可能です。)

注意点

・「小規模事業用電気工作物事故報告」で作成した詳報XMLファイルを、左図の「事故詳報作成」で読み込む ことは出来ません。

(逆の動作:「事故詳報作成」で作成したXMLファイル を「小規模事業用電気工作物事故報告」で読み込むこ とも不可となっております。)

